



2020年4月27日

各 位

会 社 名 株式会社 アテクト
 代表者名 代表取締役社長 小高 得央
 (JASDAQ・コード 4241)
 問合せ先 事業管理部次長 和田 敦
 T E L 0748-20-3400 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績の動向等を踏まえ、2020年2月7日に公表した連結業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正

2020年3月期業績予想値の修正

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	3,000	180	160	100	22円82銭
今回修正予想 (B)	2,970	150	120	30	6円84銭
増減額 (B-A)	△30	△30	△40	△70	—
増減率 (%)	△1.0	△16.7	△25.0	△70.0	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	2,955	209	194	127	29円23銭

2. 修正の理由

下記2事業における売上計画に乖離が生じたため、利益計画も見直しを致しました。

① 半導体資材事業

第3四半期以降の米中貿易摩擦による一部顧客の在庫調整と円高・ウォン/NT\$安の影響が生じたことや、第4四半期に入り、新型コロナウイルスによるパネルメーカーの操業調整などにより5期ぶりの減収となり、業績予想を下回る見込みです。

② PIM事業

半導体製造設備、工作機械等の世界的需要減が続く中、予定していた直動型ベアリングをはじめとする高機能部品の受注が想定を大きく下回りました。一方で2車種の自動車ターボ部品の試作を正式受注し、保有する設備及び人的資源を鑑み、新規受注獲得の為の営業活動を一時的に抑制し、試作イベント(本イベントを経て量産を開始する自動車メーカー共通の流れ)に特化しました。また、新型コロナウイルスの関係で2020年3月稼働予定であった新規中国製焼結炉2基の立ち上げが困難になったことから、本設備で量産予定であった注残製品の出荷が次年度に持ち越しとなったため、業績予想を下回る見込みです。

③ 事業再編による設備除却及び減損

中期経営計画における事業再編により、不要となった設備の除却及び減損による特別損失の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益が減少する見込みです。

以上